

## 特別講演 1

# 「内科医が指導する内科疾患のリハビリテーション」

国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科

藤谷 順子 先生

リハビリテーション（以下リハ）にはさまざまな側面があり、回復期リハ病棟で行なうようなことのみがリハではない。

慢性呼吸不全や心血管疾患では、運動を中心とした包括的な対応が再発や悪化を防ぐことへのエビデンスがあり、リハとしてガイドラインに位置づけられている。しかし、このような内科疾患については、患者さん自身がリハを治療手段と考えていないことが多い。運動してもよいのか、なぜ運動するほうがよいのか、どのくらいどんな運動をすればよいのか等について、治療者としての信頼を受けている主治医がまず話をしないことには、患者さんが納得して運動することはできない。

また、高齢者の誤嚥性肺炎など、訓練だけで良くすることが難しく、さまざまな側面にわたる主治医ならでのマネージメントが重要な病態もある。

今回は、呼吸器疾患を中心に、内科疾患のリハを内科医が指導する際のポイント、コメディカルスタッフへの指示の出し方等について解説する。